

4-11 1992年2月2日東京湾の地震 (M5.9) に伴う
河津町における水温の変化について

The Variation of Water Temperature at Shimosagano, Kawazu-cho and
its Relation to the Occurrence of the Tokyo Bay Region Earthquake
(M5.9, Feb. 2, 1992)

京都大学防災研究所 地震予知研究センター

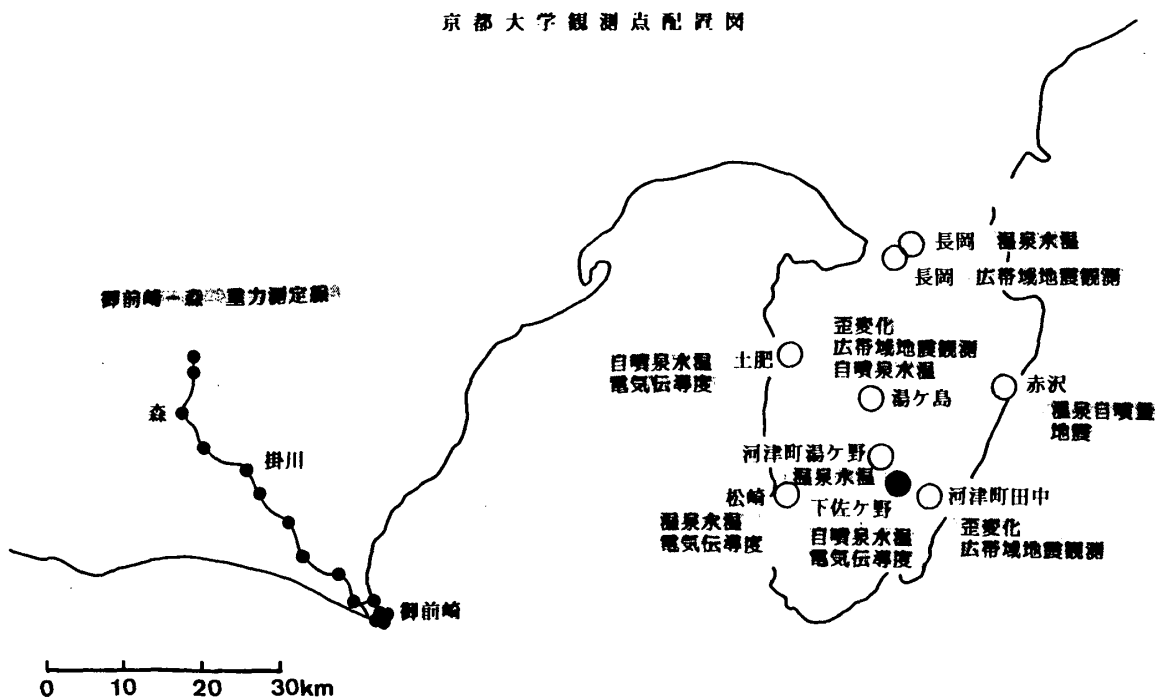
Research Center for Earthquake Prediction
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

京都大学では、伊豆半島内において、第1図に示す観測点で諸観測を実施している。黒丸で示した河津町下佐ヶ野の自噴泉において、1992年2月2日東京湾で発生した地震 (M5.9) に関連すると思われる水温変化を記録したので報告する。

第2図に1月15日から2月10日までの地震前後の水温変化を、同観測点で測定している気温、気圧、雨量とともに示した。データは1時間毎の瞬時値である。地震に関連すると思われる水温変化が現われた期間に影をつけて示した。水温は地震の96時間前 (1月31日8時) に0.48℃ステップ的に上昇し、35時間前 (1月31日18時) から3時間前 (2月2日0時) まで0.97℃低下した。第2図にみられるように、水温変化は、通常、気圧変化と逆相関を示すが、この期間ではその関係は認められない。また、自噴口から浴槽までの配管部 (約3 m) で気温の影響を若干受けるが、それを考慮しても特異な変動であり、地震の先行現象である可能性がある。

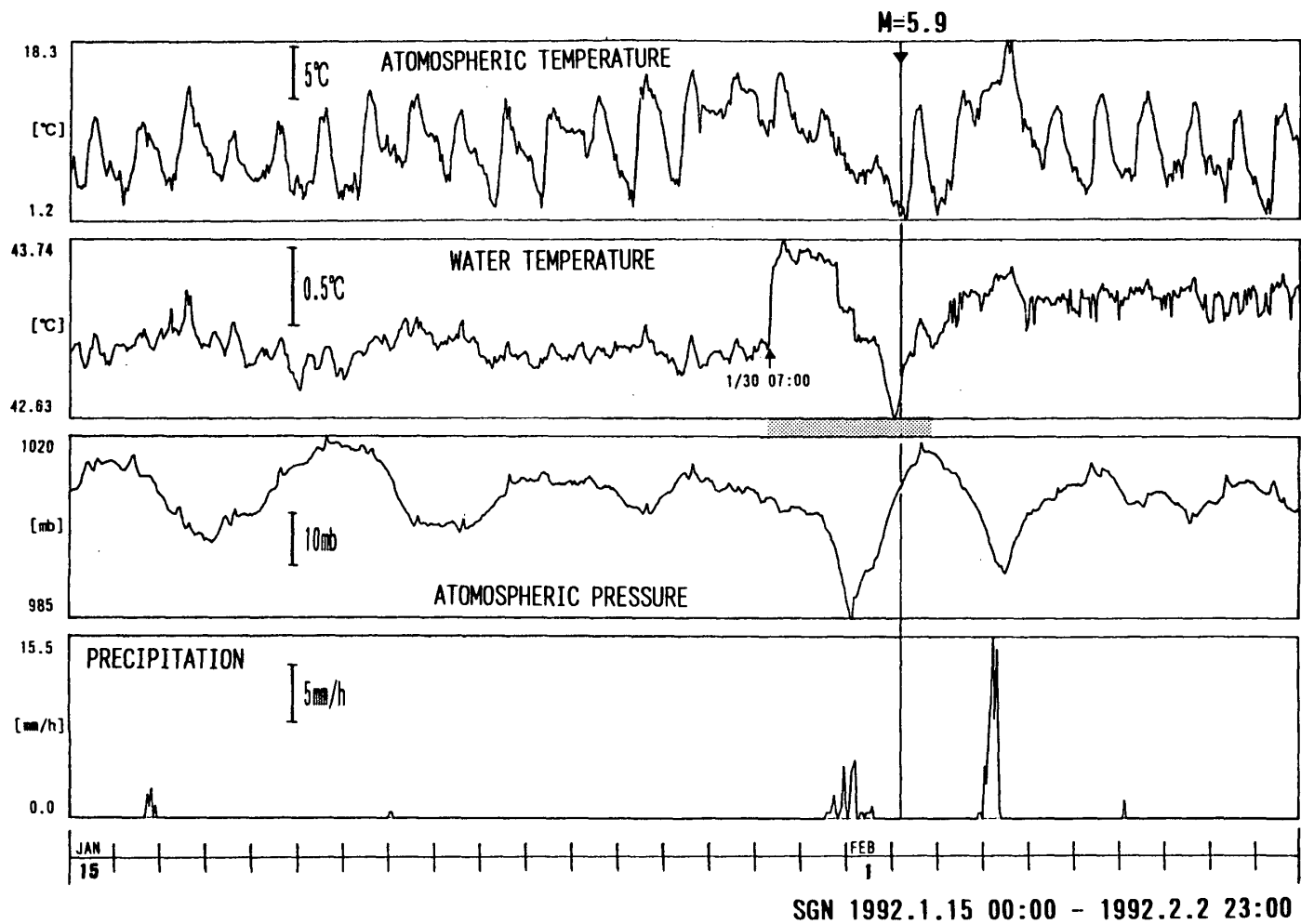
なお、第1図に示したように、下佐ヶ野以外の5箇所でも泉温の観測を行なっているが、これらの観測点では地震にともなう有意な変化は認められなかった。

(浅田照行)



第1図 観測点の配置及び観測項目

Fig. 1 Observation points and their observing items.



第2図 河津町下佐ヶ野における気温・水温・気圧変化と雨量

Fig. 2 Temporal variations of hourly values of atmospheric temperature, water temperature, atmospheric pressure and precipitation, observed at Shimosagano, Kawazu-cho, from Jan. 15 to Feb. 10, 1992. The shadow shows the duration of anomalous changes of water temperature and the arrow denotes the occurrence of the earthquake.